

報道関係者各位

さくら構造(株)が開発する「ハイウォール工法」

日本で初めて壁式鉄筋コンクリート造 8 階建ての 確認済証を取得

複雑な解析が必要な設計をクリアし、WRC 造のメリットを最大限に活かす

建築物の構造設計を主力とするさくら構造株式会社（本社：北海道札幌市 代表取締役 田中 真一 以下、さくら構造）は、日本で初めて 8 階までの壁式鉄筋コンクリート造（以下、WRC 造）の確認済証を取得しました。8 階までの WRC 造は、法改正と設計指針の策定により、「確認申請」と「適合性判定」の一般的な審査で可能となりましたが、複雑な解析が必要となるため普及は進みませんでした。さくら構造は豊富な実績や同時の研究の結果、確認済証を取得いたしました。

ハイウォール工法の特徴

【中高層RC造のよく聞く悩み】

- ・耐震性とコストの両立が難しい。
 - ・柱や梁型が出てデザイン性に影響を与えてしまう。
 - ・配筋が複雑で施工が難しい。
- そのお悩みが解決します。



	ハイウォール工法	一般的なRC造	RC造(免震)
耐久性	○	○	○
耐震性	◎	△	◎
コスト	○	△	×
施工性	○	△	△
プラン自由度	△	◎	◎
居住性、振動、遮音	○	○	○

ハイウォール工法は なぜ生まれたか

従来まで、耐震性の高い壁式の建物は 5 階までだったので地震大国の日本に高耐震の建物をもっと普及させたいという想いから壁式 8 階のハイウォールを開発いたしました。



詳しくはこちら
<https://sakura-kozo.jp/zisha-kouhou/hight-wall/>

【お問い合わせ】

さくら構造株式会社 担当 小林 (こばやし)

Mail kozyo@sakura-kozo.jp TEL 011-214-1651 (9:00 ~ 18:00)

